



はじめに

「せき・すこやか親子プラン」(第4次関市母子保健計画)は、関市の母子保健施策の効果的かつ総合的な推進を目的として策定しています。

母子の生命を守り、母子の健康の保持増進を図る目的に加え、近年の妊産婦や子育て世帯を取り巻く環境等が変化する中で、安心して子どもを産み、ゆとりを持って健やかに育てるための環境づくりなど、すべての親子が笑顔で心豊かに暮らせるまち『関市』を目指します。



計画の期間

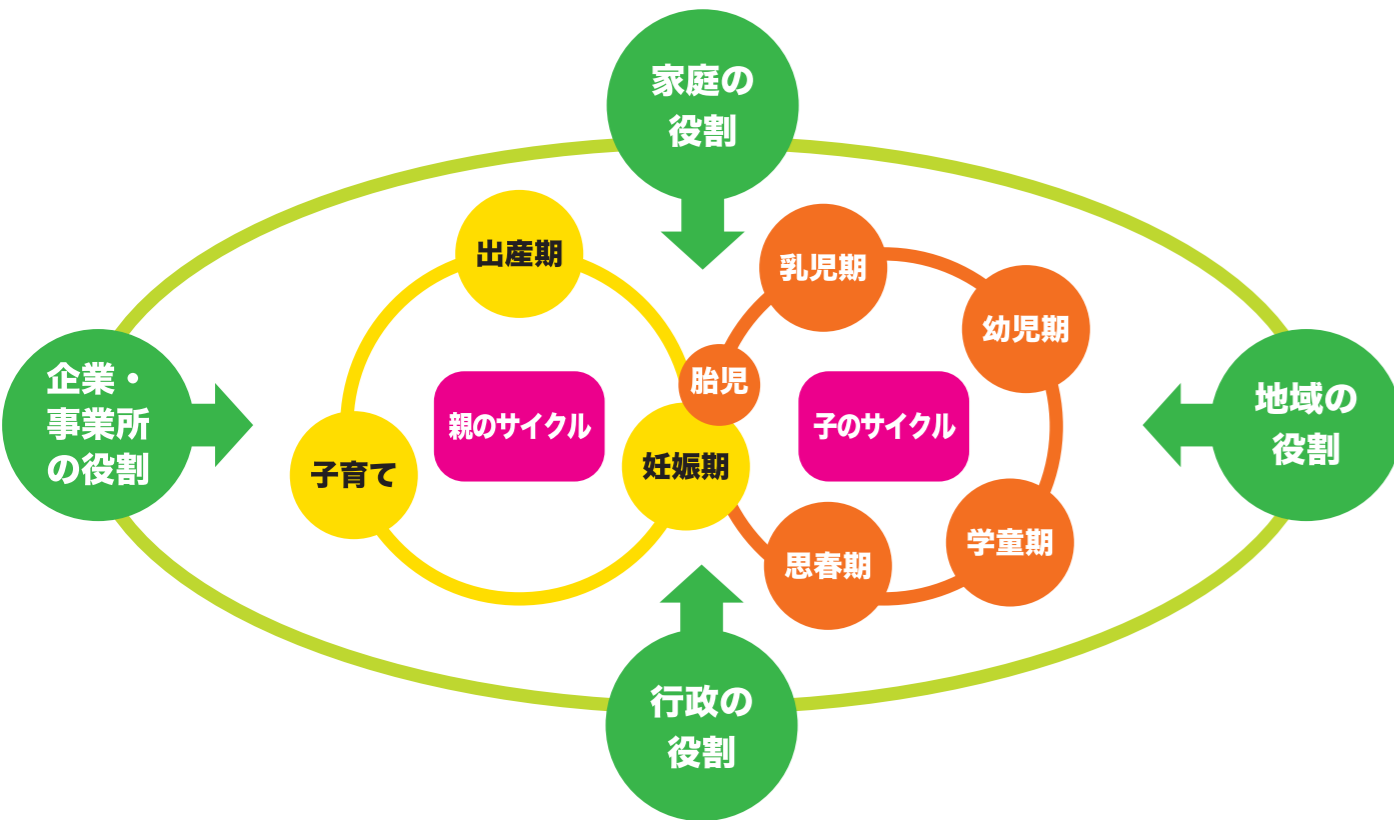
「せき・すこやか親子プラン」(第4次関市母子保健計画)の計画期間は平成27年度から平成31年度の5年間です。随時見直しを行いながら計画の推進をしていきます。



計画の対象

対象は、妊産婦、子育て期の親、乳幼児期・学童期・思春期の子どもとし、これらの各段階を環状に世代をつなぐ「ライフサイクル」として捉えます。

また、行政と関係機関・団体などとの連携を深め、情報の共有化を図りながら、事業の推進を行うとともに、家庭、地域、保育園、幼稚園、学校、医療機関、企業、行政がそれぞれの役割を担い、互いに力を合わせていきます。



具体的な取り組みの展開

妊娠期・出産期

妊娠期のできるだけ早い時期から出産や育児への不安を解消し、ストレスを軽減するための相談や指導を重視します。妊娠届出時を正しい知識や必要な情報を知るきっかけづくりとし、プレママ教室を実施します。とくに、若年や未婚、心身の不調がある等の妊産婦(=要支援妊婦)に対しては、訪問や相談などの支援を行うとともに、医療機関や子育て関係機関などと連携を図っていきます。

また、不妊に関する理解を深めるために、夫婦の健康管理や家族計画、不妊の知識などの啓発を行います。

- 妊娠11週までに妊娠の届出をすませましょう。
- 母子健康手帳を活用し、積極的に母体の健康管理を行いましょう。

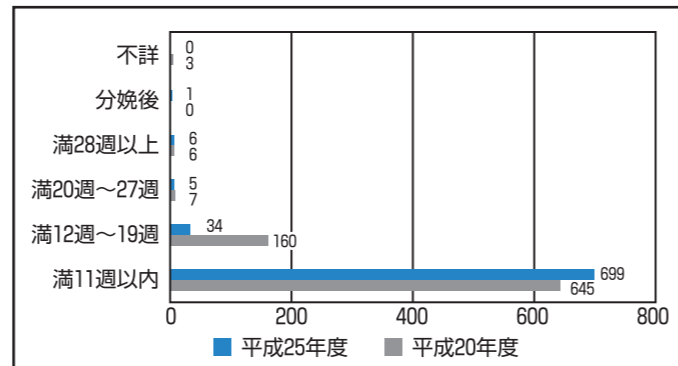
市・関係団体では…

- ・安心して妊娠・出産・育児ができるよう、正しい知識の普及に努めます。
- ・関係機関が連携し、要支援妊婦への支援を図ります。
- ・不妊の知識や相談窓口の周知、助成制度について啓発し、市民の不妊に関する理解を深めます。

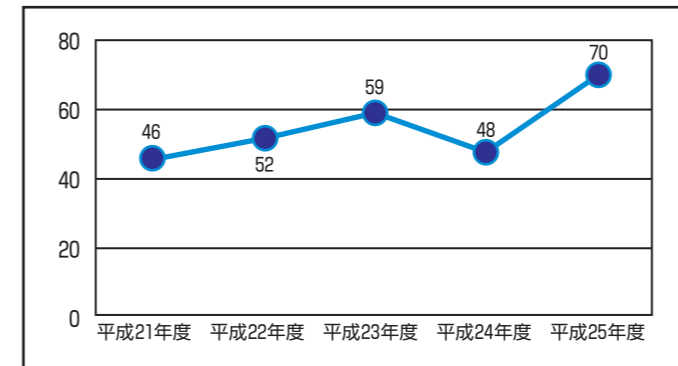
地域や企業・事業所では…

- ・働く妊産婦の労働環境などに配慮をしましょう。
- ・妊産婦にやさしいまちづくりを地域全体で行いましょう。

週数別の妊娠届出の状況



関市特定不妊治療費助成事業申請件数



乳幼児期

安心して楽しく子育てができるように、子育て家庭を地域全体で支えていく環境づくりを重視します。そのために、乳幼児健診・相談などの母子保健事業、各機関の子育て支援事業との連携を図っていきます。また、虐待予防や育てにくさに寄り添う支援のために、見守り体制の充実や地域の理解を深めていきます。

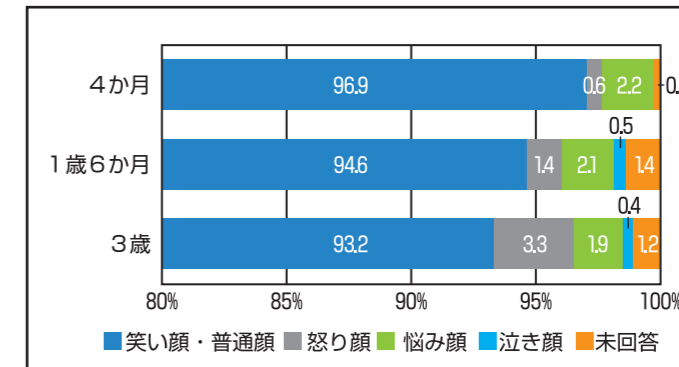
また、母子健康手帳を活用した子どもの成長発達についての知識の普及や、企業等と連携して子育て世代の父親への働きかけを実施していきます。

- 安心して楽しく育児をするために乳幼児健診、相談などを通して不安を解消しましょう。また、母子健康手帳を活用して子どもの成長発達の目安を知りましょう。
- 親子で健康的な生活習慣を身につけましょう。

市・関係団体では…

- ・乳幼児健診及び健診後の支援体制の充実を目指します。
- ・関係機関と連携し父親など、家族育児の推進を図ります。
- ・相談者に応じた相談窓口の周知や、サービスの情報提供を行います。

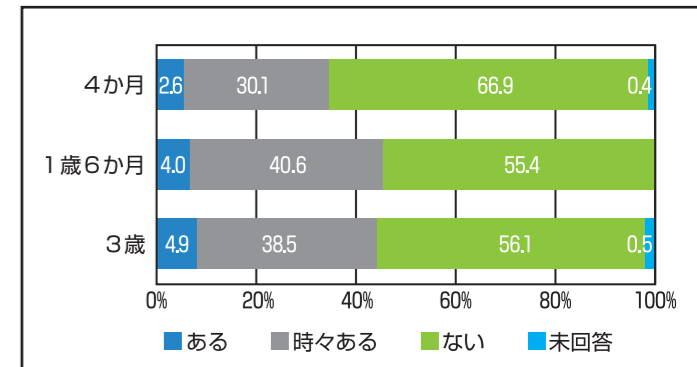
親の子育てについての気持ち



地域や企業・事業所では…

- ・子育て世代の父親が育児参加しやすい労働環境づくりに努めましょう。
- ・親子を孤立させないために、地域での見守り体制の充実にも努めましょう。

子育てに負担を感じる親



思春期

元気なこころとからだをつくるために基本的な生活習慣を身につけることを重視します。また、こころの健康、性、思春期やせ、飲酒、喫煙、薬物などに関する知識の普及や個別の支援などを行い、行政、学校保健、医療、地域、民間団体等との連携を図ります。

- 「早ね早おき朝ごはん」で、正しい生活リズムを身につけましょう。
- 正しい情報(喫煙、飲酒、薬物、情報モラルなど)を選択する力を育てましょう。
- 命の尊さについて学び、自分や家族、友だちを大切にしましょう。

市・関係団体では…

- ・こころやからだの健康の大切さを認識できるように引き続き教育を実施します。
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用防止、思春期のこころの問題を対応するため、家庭や地域との連携を図ります。
- ・相談窓口(保健センター、中濃こども相談センターなど)について、広報、ホームページなどで周知します。

たばこ・薬物・アルコールの害を知っている中学生

